



北九州 ESD 協議会

令和 4 年度

も く じ

1	ESD って何？	・・・	4
2	ESD 出前講座とは？	・・・	5
3	利用方法のご案内	・・・	6
4	出前講座申込書（記載例あり）	・・・	7
5	講座プログラムのご紹介		

環境・自然

1	悲鳴をあげている地球環境～もっと、もっと、もったいないを習慣化しよう！～	10
2	「環境家計簿」を使ってカーボンニュートラルを実現！	11
3	大地のめぐみと食・文化・産業のつながり～自然と歴史を活かしたジオパーク構想～	12
4	ジオ(大地)から読み解く地域の魅力	13
5	北九州の大地を遊びながら学ぶジオかるた！	14
6	出張環境ミュージアム	15
7	遊んで学ぶ環境教室	16
8	3Rの達人を派遣します！	17
9	ふれあい竹チエロ体験講座	18
10	布絵シアター・かぼんミュージアムで伝える北九州の自然	19
11	さとやまどうぶつえかきうた・絵本作りワークショップ	20
12	暮らしとともにある『天気・気象』を学ぼう！	21
13	待ったなし！気候危機とSDG13	22
14	エコ博士ロンリーと学ぶ「水はみんなのもの！」	23
15	エコ博士ロンリーと学ぶ「ダンボールコンポストで地球を救おう！」	24
16	エコ博士ロンリーと学ぶ「ゴミ分別で地球を救おう！」	25

地域・伝統

- 1 田んぼミュージアム おにぎり愛は語り愛ワークショップ 26
- 2 修験と神楽とエコロジー・「豊前神楽」と伝統知のお話 27
- 3 マイバックの原点は日本古来の風呂敷文化 28
- 4 シンググローバリー・アクトローカリー
“思いは地球規模で、行動は足元から” 若松秋桜会の活動紹介 29
- 5 八幡大空襲体験者からの伝言 30

国際

- 1 環境や福祉の先進国スウェーデンから考える ESD や SDGs 31
- 2 「ドラマで、映画で ESD」 32
- 3 世界を体感。「教材体験ワークショップ」 33

コミュニケーション

- 1 出来る範囲で出来る事から取組む『昆虫講座』のキッカケ作り 34
- 2 出来る範囲で出来る事から取組む『地域清掃活動』のキッカケ作り 35
- 3 出来る範囲で出来る事から取組む
『色々な鬼ごっこ&スポーツ鬼ごっこ体験』のキッカケ作り 36
- 4 出来る範囲で出来る事から取組む
『クップ(スウェーデン発祥の薪当てスポーツ)体験』のキッカケ作り 37
- 5 出来る範囲で出来る事から取組む
『モルック(フィンランド発祥の薪当てスポーツ)体験』のキッカケ作り 38
- 6 出来る範囲で出来る事から取組む
『プログラミング的思考入門』のキッカケ作り 39
- 7 「いのちの木・持続可能な未来を考え会」ワークショップ 40
- 8 SDGs 学びワークショップ SDGs アートワークショップ 41

その他

1	知っているような気がするけれど、いまさらきけないカタカナ言葉	42
2	なぜ金(きん)は大切にされるのでしょうか～身近なものから考える ESD と SDGs～	43
3	家をすっきりかたづけながら、人生百年時代の暮らしを考えませんか	44
4	“あたりまえ” がずっと続きますように・(平和について考えましょう)	45
5	食べ物のいのちと人のいのちはつながっている～なくそう食品ロス～	46
6	北九州市 出前講座	47
7	SDGs 図書館大作戦！！	48
8	愛されるジイジ・バアバのつくり方～地域活動を通じて学んだ事～	49
9	人生 100 年時代、あなたにもっと、もっと、活躍の場が！	50
10	幸運な人と不運な人とを隔てるものは何か！	51
11	女と男 何が違う？ なぜ 違う？	52
12	私でよければお手伝いします！～ESD 活動を通じて学んだこと～	53
13	“ with コロナ ” 時代を如何に生き抜くか！～フレイル予防を考えよう～	54
14	これから社会人として飛躍する学生の皆様へ！	55
15	「昭和街頭紙芝居」の世界へようこそ！	56
16	自分たちのまちを見つめよう！ 語ろう！	57
17	思い出トラベル～私がキミ達の頃には～	58
18	大人も子どもも、防災で遊ぼう！ 『あそぼうさい』	59
19	SDGs って何だろう？ (ESD って何だろう？)	60
20	「そもそもボランティアってなんだろう？ <ボランティア概論入門編>	61
21	「私を知ってっちゃノート」が繋ぐ介護する側・介護される側の信頼の絆	62
22	『あなたの大事な人が認知症？あなたならどうする？』	63
23	ユース(学生)による出前講座	64



1 ESDって何？

今、世界には環境、貧困、人権、平和、開発といった様々な問題があります。

ESDとは、これらの現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組む（think globally, act locally）ことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そしてそれによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動です。（文部科学省ホームページより）

すなわち、

「より良い未来のために自分自身と社会を変えていく『学び』」です。

このESDを通して、地球規模の視点を持ちながら、北九州のより良い現在と未来に向けて、「気付く」「学ぶ」「考える」「行動する」ことができる人財を多く育み、そしてみんなが「つながる」「広げる」「共有する」ことにより、相乗効果ですばらしい取り組みとなります。

また、まちの課題解決に積極的に参画する人々を多く生み出し、それにより環境・社会・経済のバランスのとれた、公正で持続可能なまちの実現を目指します。



2 ESD 出前講座とは？

北九州では、市民の集まりから誕生した「北九州 ESD 協議会」が中心となり、各種イベントに出展しての PR や、広報誌の発行、ESD 講座の開催など、様々な ESD の取り組みを進めてきました。

この取り組みを、地域にお届けするのが「ESD 出前講座」です！

現在、協議会には様々な分野の会員がおり、たくさんのお出前講座プログラムがあります。分野も、環境をはじめ、地域、伝統文化、国際理解、スポーツなど、バラエティ豊かに取り揃えております！

市民センターや、こども会、自治会など、呼んでいただければどこへでも出かけていき、楽しく・わかりやすく、ESD についてお伝えします！

どうぞお気軽にご利用ください♪

対象者 どなたでも（ESD を学ぶ気持ちのある方）

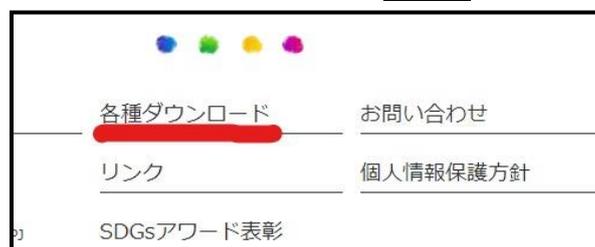
講師 北九州 ESD 協議会会員（主に NPO 法人や任意団体、行政関係者など）

開催場所 原則として北九州市内

費用 無料（※講師の交通費、謝金は協議会が負担します。）

（注）講座の内容によっては、材料費、参加者の交通費など実費が必要になることもあります。

報告書の提出 原則として、申込者様より講座開催後に報告書の提出をして頂きます。
（報告書は北九州 ESD 協議会ホームページ“各種ダウンロードページ”からのダウンロードまたは FAX”[要連絡](#)”にてご対応させていただきます。）



3 ESD 出前講座 利用方法のご案内

1. 講座の選定

「ESD 出前講座カタログ」から希望する講座を選んでください。
※ご希望のテーマがカタログにない場合は、協議会事務局までご相談ください。
可能な範囲で対応いたします。



2. 希望する開催日等・場所の決定・手配

希望する開催日時、場所を決めてください。
開催場所は原則として北九州市内に限ります。
(※場所の手配は申込者様でお願いいたします。)



3. 申込み

講座開催希望日の 1 ヶ月前までに、必要事項を申込書に記載し E メール、FAX、持参にて北九州 ESD 協議会事務局までお申し込みください。
(※プログラムによっては、講師に直接申し込んでいただくものもあります。)



4. 講師と日程調整

協議会にて、担当講師と連絡・調整を行い、申込者様にご連絡いたします。
※講師の都合によりご希望に添えない場合もございます。その際にご相談させていただきます。



5. 講座の開催

講座開催日は、場所、必要物品（必要な場合のみ）等をご準備ください。
講師への謝礼、交通費のお支払いは不要です。

令和 年 月 日

北九州 ESD 協議会ホームページよりダウンロード可能

ESD出前講座 申込書

北九州ESD協議会 御中

団体名

住 所

申込者氏名

電話

FAX

貴協議会が実施する「ESD出前講座」を依頼したいので、次のとおり申し込みます。

希 望 講 座	講座名、テーマなど	
希 望 日 時	第1希望	令和 年 月 日 () : ~ :
	第2希望	令和 年 月 日 () : ~ :
	第3希望	令和 年 月 日 () : ~ :
開 催 場 所	<ul style="list-style-type: none"> ・所在地 ・電話番号 	
参加予定人数	計 人 (男性 人 ・ 女性 人) 主な対象 (年齢層)	
開 催 目 的		
備 考	特記事項がありましたらご記入ください	

1. 必要事項をご記入の上、直接持参、郵送、FAX等で希望日時の一ヶ月前までにお申込ください。
2. 政治・宗教活動または営利活動を目的とする場合、実施できませんのでご了承ください。
3. 当協議会の業務や講師の都合または他の団体の申込状況等の関係で、開催日時のご希望に添えない場合がありますのでご了承下さい。

記載例

令和4年 〇月 〇日

ESD出前講座 申込書

北九州ESD協議会 御中

団体名 北九州ESD協議会
住 所 小倉北区魚町3丁目3-20地下1階
申込者氏名 ESD 太郎
電話 531-5011 FAX 531-5011

貴協議会が実施する「ESD出前講座」を依頼したいので、次のとおり申し込みます。

希望講座	講座名、テーマなど 「布絵シアター・かばんミュージアムで伝える北九州の自然」	
希望日時	第1希望	令和4年11月27日（日） 10：00～12：00
	第2希望	令和4年12月 4日（日） 10：00～12：00
	第3希望	令和4年12月11日（日） 13：00～15：00
開催場所	北九州まなびとESDステーション セミナールーム ・所在地 小倉北区魚町3丁目3-20地下1階 ・電話番号 531-5011	
参加予定人数	計 30人（男性15人・女性15人） 主な対象（年齢層） 小学生～大学生、10才～40才	
開催目的	定期的に開催している当会の「〇〇講座」において、ESDをテーマとした講座を行い、市民へESDを普及するとともに、参加者同士の交流を図ることを目的にしています。	
備考	特記事項がありましたらご記入ください	

1. 必要事項をご記入の上、直接持参、郵送、FAX等で希望日時の一ヶ月前までにお申込ください。
2. 政治・宗教活動または営利活動を目的とする場合、実施できませんのでご了承ください。
3. 当協議会の業務や講師の都合または他の団体の申込状況等の関係で、開催日時のご希望に添えない場合がありますのでご了承ください。

出前講座プログラムのご紹介

複数の分野が重なるものがほとんどですが、
講座を選びやすくするために、
環境、地域、国際など、テーマ別に紹介しています。
興味がありましたらお気軽にお問い合わせください☆

テーマ

悲鳴をあげている地球環境～もっと、もっと、もったいないを習慣化しよう！～

担当講師

団体名 北九州ESD協議会個人会員

代表者 金子良恵

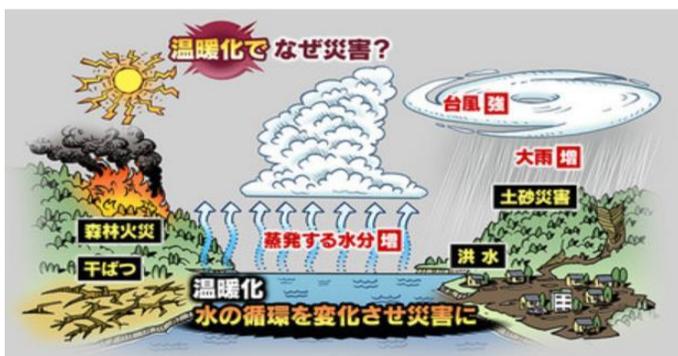
講座概要

現在 地球温暖化が益々進み、異常気象が頻発しています。その原因のCO2削減は焦眉の急です。「気候危機」も「コロナ禍」も人災であるという反省に立って、対策を各市民レベルで考え、行動することが極めて重要です。本講座では「もっと、もっと、もったいないを習慣化しよう！」を実践する為の具体的な方策についてご説明します。

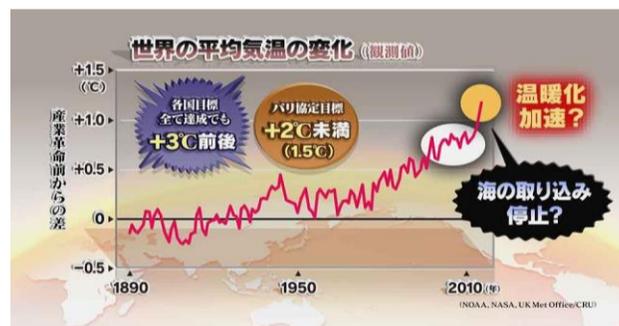
＜主な内容＞

- ①「地球が危ない」実態を確認しましょう
- ② 一般市民レベルで出来る対策を考えましょう
- ③「楽しく節電」「食品ロスの削減」につき具体的に考えましょう
- ④これらの活動は効果の”見える化”が大切です

＜私たちが取り組む目標＞



2021年7月29日(木) NHK 時論公論



1. 5°C以下に抑えることが必要！

所用時間

60分～120分

定員

約10～30名

必要物品

プロジェクター

テーマ

「環境家計簿」を使ってカーボンニュートラルを実現！

担当講師

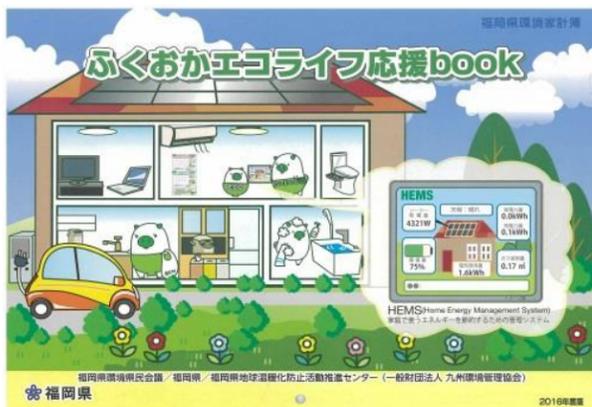
団体名 若松秋桜会(こすもすかい) 代表者 久永 恵美子

講座概要

防災、減災への関心が強まる昨今ですが、地球の温暖化も要因の一つと捉えています。
～各地域の現状、それに向けて私たちにできることは～
身近な生活の中で取組むCO2削減のノウハウを、環境家計簿で我が家の暮らしを見直し、エコライフのコツを身に着けましょう。

〈主な内容〉
・環境家計簿を使ってエコライフ！
※環境家計簿はこちらでご準備いたします。

〈私たちが取り組む目標〉



所用時間

90分

定員

30人程度

必要物品

なし

テーマ

大地のめぐみと食・文化・産業のつながり ～自然と歴史を活かしたジオパーク構想～

担当講師

団体名

ジオ&バイオ研究会

代表者

杉野 広利

講座概要

この講座は、地質や歴史、環境に興味のあるかた、自分の住んでいる街をもっと深く知りたい方に役立つ講座となっています。北九州は政令市で最も地質の多様性が多い土地であり、この地質に育まれ多くの生物多様性も観察できる土地です。今まで全く意識されていなかった地質について楽しく解説し、この地質に育まれた特産品、文化、産業とのつながりを様々な実例を紹介しながら学びます。

また北九州地域内に100エリア以上あるジオスポットを紹介し、これらを活かして北九州が目指しているジオパーク構想について解説し、ジオパークとは何か、どんな活動が求められるのかを学びます。

<主な内容>

- ①ジオパークって何？
- ②北九州の地質
- ③地質と特産品、文化、産業のつながり
- ④たくさんあるよジオスポット
- ⑤めざせ北九州ジオパーク！

<私たちに取り組む目標>



所用時間 60分～120分

定員 50名

必要物品 パソコン、プロジェクター

テーマ

ジオ(大地)から読み解く地域の魅力

担当講師

団体名

ジオ&バイオ研究会

代表者

杉野 広利

講座概要

3億年前から現代までの多様なジオ(大地)の広がる北九州。多様なジオは多様なバイオ(生物)を育み、多様な生活・産業・歴史を生み出してきました。各区にあるジオポイント(地質遺産)を紹介しながら、その成り立ちを学びます。また市が進める「北九州ジオパーク」構想とその支援活動についても紹介します。会が製作中の「ジオかるた北九州」を使って分かりやすく楽しく解説します。脚下のジオ(大地)とその魅力を知り、誇れるまち北九州を再発見してください。

〈主な内容〉

- ①北九州の地形
- ②北九州のジオサイト
- ③ジオとバイオと歴史
- ④北九州ジオパーク構想
- ⑤「ジオかるた北九州」実演と解説

〈私たちが取り組む目標〉



所用時間

60分~120分

定員

50名

必要物品

パソコン
プロジェクター

テーマ

北九州の大地を遊びながら学ぶジオかるた！

担当講師

団体名 ジオ & バイオ研究会

代表者 杉野 広利

講座概要

ジオかるたは、北九州の大地を楽しく学ぶかるたです。
北九州市には約3億年以上前から現代までのさまざまな大地（地層）がみられます。
この大地から、地域特有の景観やさまざまな植物や動物が育まれ、そこから産業や文化が生み出されています。
かるたでは、このようなジオの特徴を、市内の各エリア（門司、小倉、八幡、戸畑、若松）それぞれに解説しており、地域の魅力をジオを通じて再発見できる内容になっています。かるた遊びとともにマップを見ながら各区のジオサイトをめぐるすごろく遊びもできます。

<主な内容>

- ①ジオかるたあそび
- ②各区に特有な地質、景観や植物、文化などの解説
- ③ジオがもたらす食のめぐみの解説
- ④生きた化石「カブトガニ」を学ぶ講座

講座例：①+（②、③、④のいずれか）

<私たちが取り組む目標>



所用時間

約1時間～

定員

30名程度まで

必要物品

プロジェクター

テーマ

出張環境ミュージアム

担当講師

団体名 北九州市環境ミュージアム

代表者 タカミヤ・里山・エックス共同事業体

講座概要

ガイドや環境学習サポーターが学校・市民センター・地域のイベントまで出かけて、環境に関する工作、ゲーム、講話などを行います。学校の授業の一環としてもご利用できます。依頼者様のご要望に出来るだけ沿ってプログラムをご用意します。

※出張希望日の1か月前までにお申し込みください。

《プログラムの例》

- ・食品ロスカードゲーム
カードゲームを通して食品ロスについて学ぶ。
- ・ふろしき使い方講座
ふろしきの使い方を学んで、ゴミの削減に貢献。
- ・講話：海洋プラスチックゴミ
クイズを通じてプラスチックゴミについて考える。
など

〈私たちが取り組む目標〉



所用時間 ご希望に応じます

定員 プログラムによる

必要物品 プログラムによる

テーマ

遊んで学ぶ環境教室

担当講師

団体名

北九州市環境学習サポーターの会

代表者

上永 陽一

講座概要

依頼者の要望により、①環境講座 ②ゲーム・クイズ・実験 ③エコ工作などをミックスして構成する。または、その他の項目を単独で実施する。

〈主な内容〉

①環境講座

- ・3R講座
- ・大型紙芝居
- ・公害全般(発生から対策まで)
- ・こりゃ洞海(赤潮対策)
- ・地球のカレンダー(地球の誕生から)
- など

②ゲーム・クイズ・実験

- ・ゴミ分別ゲーム
- ・未来ホテルビンゴ
- ・3択クイズ
- ・エコ取り物語
- ・発電実験
- ・水の面白実験
- など

③エコ工作の素材

- ・菓子袋・食品袋
- ・貝殻・木の実
- ・チラシ・ポスター・新聞紙
- ・包装用テープ
- ・ペットボトル
- など

④その他

- ・古布でぞうり
- ・はまぐりびな
- ・紙すき
- ・廃油で石ケン又はキャンドル
- ・環境家計簿
- など

※お申込・お問い合わせは、直接【北九州市環境ミュージアム】まで。

〈私たちが取り組む目標〉



所用時間

ご希望に応じます

定員

制限なし

必要物品

原則としてサポーターの会で用意します。

テーマ

3Rの達人を派遣します！

担当講師

団体名

福岡県(循環型社会推進課)

代表者

講座概要

3R(リデュース、リユース、リサイクル)に関する県民の意識の高揚、3R活動の活性化を図るため、県内で率先して3Rに取り組む個人やNPO法人に所属している方を「3Rの達人」として県に登録し、地域コミュニティや職場、学校等において実施される3Rの学習会、講演会、実践教室等などに派遣するもの。

講師への交通費の支給や謝礼は県が負担。
※会場使用料など学習会に要する経費は申込者の負担。

〈主な内容〉

- ・ごみ減量講座
- ・ダンボールコンポスト講座
- ・食品ロス削減講座
- ・ペパ鉛筆工作
- ・エコクッキング
- ・廃材工作

〈私たちが取り組む目標〉



※お申込・お問い合わせはホームページをご覧ください、直接
福岡県 循環型社会推進課までお願いいたします。

Tel : 092-643-3371 Fax : 092-643-3377

【 3Rの達人 】 で検索！

所要時間

約2時間

定員

15名以上

必要物品

要相談

テーマ

ふれあい竹チェロ体験講座

担当講師

団体名 竹凜共振プロジェクト

代表者 田中昇三

講座概要

『廃材となる竹の有効活用から生まれた奇跡の竹チェロ』

心地よい重低音が響く竹チェロを見て触って弾いてみよう！セロ弾きのゴーシュになった気分竹チェロを遊びながら気軽に体験して頂く講座です。チェロと言えば高価で敷居が高く普通気軽に触れること等できませんが、誰でもDIYで作れる様に工夫された竹チェロは、庶民が気軽に楽しむ庶民の為に開発された竹チェロを存分に堪能してください。その音質プロのチェリストからも重低音が素晴らしいと高く評価されています。

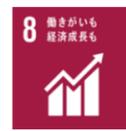
■創作竹楽器で竹林資源の有効活用をプロデュース世界でも類を見ない竹の弦楽器(特許取得)の制作WS・竹楽器コンサートを通じて日本各地で社会的問題となっている竹害の現状を知ってもらい環境保全と竹林資源の有効活用の為の普及啓発学習プログラムを実施。

〈主な内容〉

・竹チェロを見て、触って、弾く。

〈私たちが取り組む目標〉

ちくりんセミナー【竹チェロ物語】竹楽器の周りは不思議といつも笑顔がいっぱいになります。竹楽器に関心を持っていただいた方に実際に音を出していただいて楽器に触れていただきます。竹の振動を体で感じるとみなさん笑顔になれます。竹の現状も知っていただくことができ、焼却処分する竹を使って楽器を手作りすることで楽器としての新たな命を吹き込むワクワク感を感じていただくことができたら嬉しいです。



所用時間

2時間

定員

30人

必要物品

必要なし

講座概要

布絵シアター・かばんミュージアムとは、北九州インタープリテーション研究会が考案した、自然を表す布絵と布でつくった生き物たちのお話で、身近な自然や地域の文化に目を向け、持続可能な未来を参加型で考えようためのESD教材です。

これまで、幼児から大人まで、幅広い年齢の方たち対象に様々な場でワークショップを開催してきました。クイズや紙芝居、ネイチャーゲーム・絵かき歌など様々なアクティビティも加え、対象地域や年齢にあわせて様々なプログラムで対応しています。

<主な内容>

- ・くいしんぼうのホタルくん(ホタルの生活史)
- ・曾根干潟,春夏秋冬(干潟の生物多様性)
- ・紫川絵巻(紫川の生物多様性)
- ・葦原はおかあさん(葦原やたんぼの生物多様性)
- ・平尾台のふしぎ・藍島～海と大地の物語
- ・英彦山 山から海へ(山伏や鬼たちも登場)
- ・もったいないゾウさん(ゴミの分別など)
- ・たんぼの1年とたんぼ食育紙芝居

<私たちが取り組む目標>



⑤「曾根干潟 春夏秋冬」

【内容】 布絵シアター
遊り鳥の着せかえゲーム
鳥のクイズパズル
干潟ピンコ
資料はつらいまぐら
カブトガニのペーパークラフト

【対象】 3才～
【時間】 30分(布絵シアター)

北九州市の曾根干潟は、生き化石と呼ばれるカブトガニの産卵地です。また、絶滅危惧種のアマガシメやハクセンシオネなど多様な生物が生息しています。

▲干潟のこみわらい
▼干潟の事前学習に活用

布絵で季節ごとの干潟の様子を表現しよう！

鳥になると、クイズパズルと食への関わりがわかるよ！

干潟の達人からのメッセージ
「ハマガメ(カブトガニ)の棲む海を未来に！」をスローガンにして、カブトガニの生態や生息状況を把握するための調査を行いながら、カブトガニの保護と国内最大の産卵・産卵地である曾根干潟の保全に取り組んでいます。
日本カブトガニを守る会 福岡支部支部長 高橋保典

カブトガニクイズ!
Q. カブトガニのお母さんはどっち?
A. B
※お母は1羽の右下に隠れています。

13

北九州市の曾根干潟は、生き化石と呼ばれるカブトガニの国内有数の産卵地です。また、絶滅危惧種のアマガシメやハクセンシオネなど多様な生物が生息しています。

アマガシメは北九州のサンダー(アマガシメ)やハクセンシオネ(アマガシメ)のメスコトだよ！
春～夏に中国で産卵して、冬に曾根干潟へやって来るよ！

絶滅の危に注目！
これはアマガシメ！

この布絵シアターは、日本の環境教育交流の場で人気のプログラムです。国境をこえたつなごうを学べます。

13の答え A
大きい方がメスだよ！

14

所用時間

30分～

定員

10人～

必要物品

なし

テーマ

さとやまどうぶつえかきうた・絵本作りワークショップ

担当講師

団体名

北九州インタープリテーション研究会

代表者

原賀いずみ・加藤久美子

講座概要

さとやまどうぶつえかきうた(さく はらがいずみを使って、里山の動物たちを描きながら絵本をつくり、語りあい、里山について考えあいます。布絵シアター(鹿の体のつくり)や、動物あしあとクイズなどもあります！子ども～親子、日ごろ絵を描かない大人や高齢者にも、子ども時代の里山の思い出を語っていただきながら語り合うワークショップです。

<主な内容>

- ・「さとやまどうぶつえかきうた」による絵本づくり
- ・絵本の読みあい・語りあい
- ・里山のどうぶつなりきり
- ・布絵シアターいのちの木など

<私たちが取り組む目標>



所用時間

1時間

定員

10人～

必要物品

CDラジカセ
エンピツ

テーマ

暮らしとともにある『天気・気象』を学ぼう！

担当講師

団体名 北九州ESD協議会 個人会員

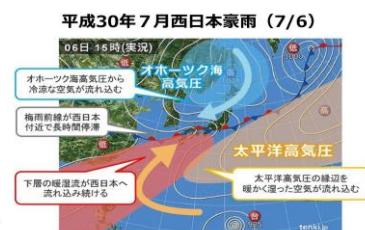
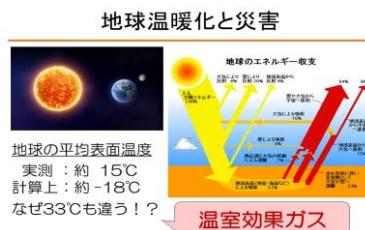
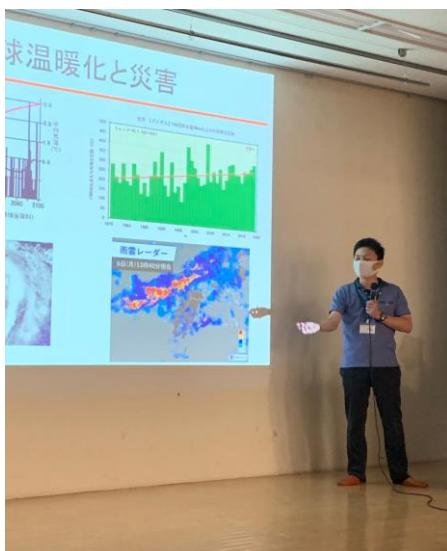
代表者 入門 真生

講座概要

暮らしとともにある『天気』
 ニュースでの天気予報だけでなく、色んなツールにて情報を入手できる時代です。
 また、地球温暖化の影響もあり、頻発する大雨災害・・・
 暮らしの中での気象情報の活用や、災害時に身を守る情報について改めて学びましょう。
 そして、市民ひとりひとりが、環境への配慮をすることにより、暮らしやすい社会を実現しましょう！

身近な天気や気象に関する話題で進行します。
 講義ばかりでなく、クイズや参加型、ディスカッション形式など、要望に応じて実施できます。
 実感することと、実践することが大切です。
 ぜひ、一緒に考えましょう！

〈私たちが取り組む目標〉



天気予報クイズ～♪

時刻	予報用語
00時から03時	未明
03時から06時	明け方
06時から09時	朝
09時から12時	昼前
12時から15時	昼過ぎ
15時から18時	夕方
18時から21時	夜のはじめ頃
21時から24時	夜遅く

【第4問】
 天気予報には、時間帯を示す言葉を用います。
 この部分の呼び名は？

- ①… 明け方
- ②… 昼過ぎ
- ③… 夜のはじめ頃

所用時間 1～2時間

定員 制限なし

必要物品 プロジェクター

担当講師

団体名 福岡県地球温暖化防止活動推進員 代表者 川島 伸治
北九州・京築地域連絡会

講座概要

<対象> 中学生、高校生、大学生、社会人、事業所など

<内容> 「地球温暖化」、「SDGs」などについて学びます。

○2050年カーボンニュートラル宣言をした日本
○2030年SDGs17項目の達成を目指す日本
いまのままで、これらの目標は本当に実現できるでしょうか。
豪雨災害や猛暑日の連続など、地球温暖化の影響と考えられる事象が頻繁に起こっている現状において、いま私たちに出来ることは何なのかを一緒に考えましょう。

<主な内容>

- ・地球温暖化の現状について
- ・SDG13について
- ・私たちに出来ること

<私たちが取り組む目標>



ひょうが こうたい 氷河の後退



しょくせい へんか 植生の変化



さばくか 砂漠化



かいめん じょうしょう 海面の上昇



たなひょう ひょうしょう げんしょう 棚氷・氷床の減少



かんせんしょう ぞうか 感染症の増加



はくか サンゴの白化



ぎょうだいか ハリケーンの強大化



みずぶそく 水不足



所用時間 90分

定員 なし

必要物品 スクリーン プロジェクター

テーマ

エコ博士ロンリーと学ぶ「水はみんなのもの！」

担当講師

団体名

福岡県地球温暖化防止活動推進員
北九州・京築地域連絡会

代表者

川島 伸治

講座概要

<対象> 保育園児、幼稚園児、小学生など

<内容> 「水の循環」、「国際理解」を学びます。

1. 山に降った雨が川を流れ、海にそそぐ。海水は太陽によって温められ水蒸気となり、雲となって、再び雨となって山に降り注ぐ。その間に人間によって飲み水として利用され、汚れたらきれいにして戻される。このような「水の循環」についてパウポで学び、模型で体験し、体を動かして体験します。
2. 最後に世界の子もたちの生活を写真で見て、自分との違いに気づき、みんなに出来ることは何かを考えます。

<主な内容>

- ・エコ博士ロンリー登場
- ・水の循環を知る(パワーポイント)
- ・水の循環を見る(模型体験)
- ・水の循環を行う(運動体験)
- ・水の循環を考える(フォトランゲージ)

<私たちが取り組む目標>



所用時間

1~2時間

定員

なし

必要物品

室内運動場
スクリーン

テーマ

エコ博士ロンリーと学ぶ「ダンボールコンポストで地球を救おう！」

担当講師

団体名 福岡県地球温暖化防止活動推進員
北九州・京築地域連絡会 代表者 川島 伸治

講座概要

＜対象＞ 小学校高学年、学童保育クラブなど

＜内容＞ 「資源循環」、「国際理解」などについて学びます。

- ・生ゴミを微生物の力で分解、発酵させて堆肥にします。これを畑に撒き野菜などを収穫し、それを調理して食べるまで行います。そこで出た食品残差を再びダンボールコンポストに入れるという循環を体験するプログラムです。
- ・費用として、ダンボールコンポスト1セット1,500円程度(各種助成金を活用可)。

＜主な内容＞

- ・ダンボールコンポストのセッティング
- ・講座：微生物ってなあに
- ・講座：世界の給食
- ・出来上がったコンポストを施肥
- ・野菜収穫、調理、試食

＜私たちが取り組む目標＞



所用時間

4～6ヶ月

定員

なし

必要物品

ダンボールコンポストを
期間中置けるスペース

テーマ

エコ博士ロンリーと学ぶ「ゴミ分別で地球を救おう！」

担当講師

団体名 福岡県地球温暖化防止活動推進員 代表者 川島 伸治
北九州・京築地域連絡会

講座概要

<対象> 保育園児、幼稚園児、小学生など

<内容> 「3R」、「資源循環」などについて学びます。

1. 「エコトンのちきゅうがたいへん」という紙芝居の読み聞かせを行います。このなかにエコに関する簡単なクイズが入っており、子どもたちのエコに対する現在の理解度を判断できます。
2. 北九州市指定ごみ袋(4種)にかん・びん・ペットボトル・紙製容器などをどのように捨てたらいいのかをCCDカメラを用いて体験しながら学びます。また、幼児には目を閉じてゴミを潰す音を聞いて、そのゴミが何で、どうやって捨てたらいいのかクイズ形式で学びます。

<主な内容>

- ・読み聞かせ「エコトンのちきゅうがあぶない」
- ・エコ博士ロンリー登場
- ・一緒にゴミ分別体験

<私たちが取り組む目標>



エコトンのちきゅうがたいへん!



所用時間

30～60分

定員

なし

必要物品

ホワイトボード
スクリーン

テーマ

田んぼミュージアム おにぎり愛は語り愛ワークショップ

担当講師

団体名

北九州インタープリテーション研究会

代表者

原賀いずみ・加藤久美子

講座概要

コンビニおにぎりが当たり前になってしまった昨今。「おにぎりたいそう」「おにぎりえんそく」の紙芝居を通して、おにぎり愛について考え、おにぎりペープサートをつくって思いを伝え合うワークショップです。田んぼミュージアムの布絵シアターや「お米かぞえ歌」の紙芝居やすごろくを通して田んぼの学びもできます。

〈講座内容〉

- ・「おにぎりたいそう」「おにぎりえんそく」「お米かぞえうた」の食育。食農紙芝居
- ・「田んぼの1年」布絵シアター
- ・「田んぼの1年」すごろく
- ・「おにぎり愛」のペープサートづくりと語り愛

〈私たちが取り組む目標〉



所用時間

30分～

定員

10人～

必要物品

紙芝居・ペープサート道具

テーマ

修験と神楽とエコロジー・「豊前神楽」と伝統知のお話

担当講師

団体名

北九州インタープリテーション研究会

代表者

原賀いずみ・加藤久美子

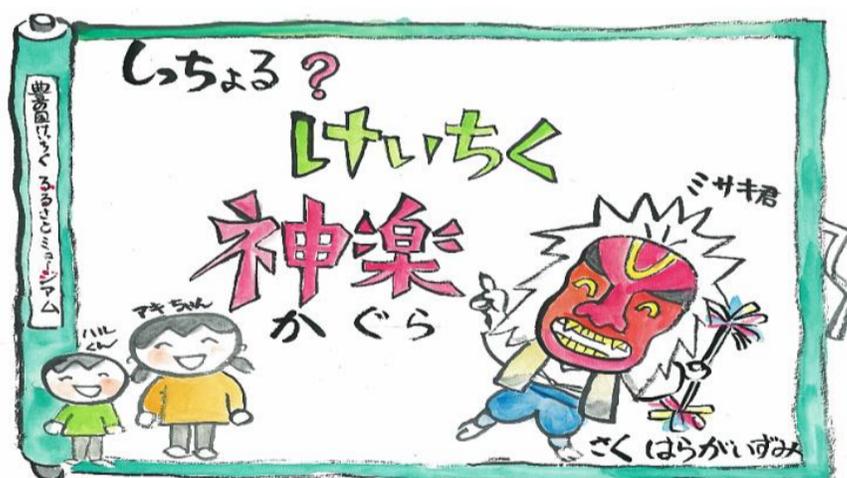
講座概要

ESDの伝統知を学ぶ講座です。国の重要無形民俗文化財に指定された「豊前神楽」。旧豊前国に息づく修験道と神楽の文化・神楽の楽しみ方、演目紹介、また、京築めぐり・英彦山めぐりのお話などを、わかりやすくご紹介します。京築カルタ、京築すごろくなど、楽しい教材もご用意しています！

<主な内容>

- ・豊前国に息づく修験と神楽とエコロジーの哲学とは？
- ・京築に学ぶ地域を知り地域を伝える極意とは
- ・神楽紙芝居
- ・修験道のまつり(松会)・お潮井採り・鬼伝説の紙芝居
- ・修験の変身コスチューム

<私たちが取り組む目標>



所用時間

1時間

定員

10人～

必要物品

プロジェクター

テーマ

マイバックの原点は日本古来の風呂敷文化

担当講師

団体名

若松秋桜会(こすもすかい)

代表者

久永 恵美子

講座概要

身近なエコ活動のひとつはノーレジ袋運動。マイバックの持参は当たり前。実はこのマイバックの活用は江戸時代から・・・素敵な風呂敷を楽しみながら日常に生かしませんか？

脱酸素社会に向けての取り組み
日本文化を知り心を豊かに！

〈主な内容〉

・風呂敷deマイバック
※ランチョンマット、風呂敷など、家にあるものを持ってきて下さい。

〈私たちが取り組む目標〉



所用時間

90分

定員

10～12人

必要物品

我が家の風呂敷

テーマ

シンクグローバル・アクトローカリー
“思いは地球規模で、行動は足元から” 若松秋桜会の活動紹介

担当講師

団体名

若松秋桜会(こすもすかい)

代表者

久永 恵美子

講座概要

20年前に、「できることから、身近なことから」をテーマに、花壇づくりという小さなボランティアから始まった私たちの活動ですが、継続することで地域や社会を巻き込み、きっと地球の未来も明るくできると信じ、継続してきました。現在も、未来ホテルデー、エコライフステージへの出展や、環境首都検定のグループ受検、ESD講座の開催など、様々な活動を楽しんでいます。
本出前講座では、そんな若松秋桜会の活動についてご紹介いたします。
地域で楽しく活動を継続する参考事例にしていいただければ幸いです。

〈主な内容〉

- ・活動紹介
- ・発足の経緯
- ・継続の秘訣

など

〈私たちが取り組む目標〉



所用時間

90分

定員

30人程度

必要物品

パワーポイント使用

テーマ

八幡大空襲体験者からの伝言

担当講師

団体名 聞き書きボランティア「平野塾」

代表者 出来谷 通保

講座概要

証言集「あの日1945. 8. 8八幡で何が起きたか」を発行して以来、体験談が掲載されている語り部の話を直に聞きたいという依頼を受けるようになりました。「平野塾」では、講演の目的や対象者の年代や人数に応じて依頼者と相談しながらプログラム作りから当日のアシスタント役まで務めてきました。これまで小中学校や大学、市民センターの平和学習や・平和の集いに招かれてきましたが、語り部の皆さんは、戦争がもたらした悲惨さや苦しみを伝え、平和の尊さや命の大切さを使命感を持って伝えてきました。しかし、体験者から直に話を聞ける機会はそれ程長くは残されていません。それだけに「平野塾」では、一人でも多くの皆さんに語り部さんの声を届けたいと願っています。

<主な活動内容>

- ・八幡大空襲の体験談
- ・戦中戦後の暮らし
- ・焼夷弾や機銃掃射とは
- ・次世代へのメッセージなど
- ・北九州における空襲の概要…DVD視聴
- ・小伊藤山防空壕模型を使って解説
- ・八幡大空襲関連の紙芝居上演
- ・写真パネル掲示

<私たちが取り組む目標>



所用時間

1時間～2時間

定員

応相談

必要物品

応相談

テーマ

環境や福祉の先進国スウェーデンから考えるESDやSDGs

担当講師

団体名

科学技術コミュニケーション研究所

代表者

泉優佳理

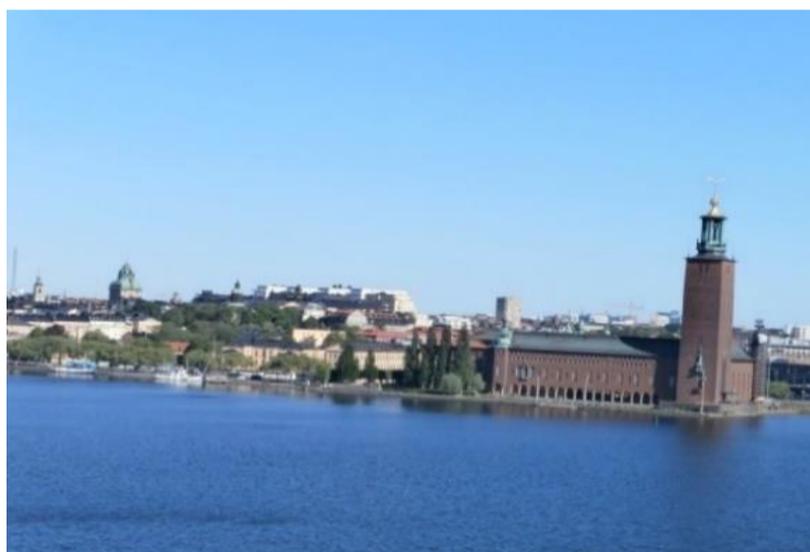
講座概要

ヨーロッパの北に位置するスウェーデンでは、高い税金を払うかわりに福祉が充実した国です。首都ストックホルムはヨーロッパの環境首都にも選ばれ、また男性と女性が同じように社会に参画する国でもあります。毎年人類への貢献をたたえて贈られるノーベル賞もスウェーデン発のもので、これはこの国の人々の誇りでもあります。そのスウェーデンの環境や暮らしの様子をご紹介し、SDGs(持続可能な発展目標)ともつないで、私たちがこれから何を考えていかなければいけないかを一緒に考えていきたいと思えます。

〈主な内容〉

- ・スウェーデンという国(ノーベル賞の国)
(環境でも進んでいる国)
- ・ゴミ箱から見える社会
- ・高福祉、高負担、高〇〇、高〇〇〇・・・たくさんの”高”
- ・窓の外から、窓の中から

〈私たちが取り組む目標〉



所用時間

45～90分

定員

何人でも

必要物品

パソコン、
プロジェクター

テーマ

「ドラマで、映画でESD」

担当講師

団体名

するシネマ&カフェ主宰・東田シネマコーディネータ代表者

服部 祐充子

講座概要

近年、ネット配信やケーブルテレビの発達で映画やドラマの人気の高まりはこれまでにない勢いです。本講座の講師は、北九州の市民上映活動の先駆けとして環境ミュージアムを会場に日本の環境やサステイナブルをテーマとしたドキュメンタリーを上映する「東田シネマ」の立ち上げや、世界の紛争・ジェンダー・健康・経済などをテーマとする「旅するシネマ&カフェ」を運営しています。これまでに見てきた数百の作品、いま大ブームの韓国ドラマなどからサステイナブルのヒントの詰まった作品たちを「紹介」×「予告編動画」×「ワークショップ」で構成します。

〈私たちに取り組む目標〉



所用時間

90分～120分

定員

15名程度

必要物品

パソコン・プロジェクター・スクリーン(ホワイトボードでも可)

テーマ

世界を体感。「教材体験ワークショップ」

担当講師

団体名

地球交遊クラブ他国際理解・多文化共生分野

代表者

服部 祐充子

講座概要

ESDには多様な課題やミッションがあります。
論理的に学ぶことと北九州ESD協議会制作教材や専門の教材開発教育教材による
ゲームのような教材を活用してテーマごと、対象年齢ごとにふさわしい題材を選んで実施します。

例)バナナ農園のお話・貿易ゲーム・お弁当屋
さんゲーム・難民ゲーム他

〈私たちが取り組む目標〉



所用時間

2時間程度

定員

グループ4人程度

必要物品

模造紙・マー
カー・ポストイット

テーマ

出来る範囲で出来る事から取組む『昆虫講座』のキッカケ作り

担当講師

団体名 私たちの未来環境プロジェクト

代表者 西藤 誉志也

講座概要

団体の活動内容の一つに昆虫を通じた「自然体験」があります。近頃では子ども達が昆虫と触れ合う機会が減っており、「虫＝悪（汚い・怖い・嫌い）」という風潮があるように感じます。私たち（市内の老若男女等）の身近にいて、私たちの暮らしと密接に関わっている昆虫について知って頂く機会を作り、私たち（市内の老若男女等）にとって昆虫が如何に大切な存在であるかに気付き、「昆虫って面白いね」と興味・関心をもってもらうこと。現在の昆虫図鑑を未来の子ども達が見たときに、「この虫は、今はもう、いないよね」等ということが起きないように、私たち（市内の老若男女等）と同じ地球に暮らす他の生き物や環境に配慮した考え方の出来る子ども達が、私たちの活動によってキッカケが増えること。

<主な内容>

- ・虫についての話（屋内：10分程度）
- ・昆虫採集体験（野外：1時間）
- ・採集した虫の調査（屋内：42分程度）
- ・捕まえた虫をどうするか

<私たちが取り組む目標>



所用時間

2時間程度

定員

20人程度（要相談）

必要物品

虫取り網・虫かご

テーマ

出来る範囲で出来る事から取組む『地域の清掃活動』のキッカケ作り

担当講師

団体名 私たちの未来環境プロジェクト

代表者 池本 真一

講座概要

地域資源である自然豊かな海岸では、取り巻く自然環境・社会環境・経済環境などにより近年、劇的に変化し海岸漂着ゴミなど社会課題が多く顕在化しています。子どもたちの自然体験活動の場である自然海岸に国内外の漂着ゴミがあり、老若男女の方々が清掃活動等を通して持続可能な社会のキッカケをつくる講座です。

〈主な内容〉

- ・「地域の清掃活動」とはなにか
- ・グループのメリット・デメリット
- ・無理なく・楽しいグループの設立・継続
- ・実践例の紹介
- ・グループワーク、企画づくり

〈私たちが取り組む目標〉



所用時間

2時間程度

定員

10人以上(要相談)

必要物品

ホワイトボード

テーマ

出来る範囲で出来る事から取組む
『色々な鬼ごっこ&スポーツ鬼ごっこ体験』のキッカケ作り

担当講師

団体名 私たちの未来環境プロジェクト

代表者 池本 真一

講座概要

【青少年の健全育成・基礎体力・コミュニケーション能力の向上】

色々な「鬼ごっこやスポーツ鬼ごっこを通して、外で遊ぶことや学ぶことの楽しさを伝え、明るく元気で健康的な心身づくりを行います。また全身運動を通しての基礎体力の向上を図ります。運動神経のあるなしに関わらず、みんなで同じ楽しさを共有し運動する機会のない子どもも気軽に参加出来る環境をつくります。子どもが主体となるキッカケを沢山作り、多文化共生・次世代へ伝統文化を繋いでいきます。

〈主な内容〉

- ・「色々な鬼ごっこ、スポーツ鬼ごっこ」とはなにか
- ・「色々な鬼ごっこ、スポーツ鬼ごっこ」のメリット・デメリット
- ・無理なく・楽しい
- ・「色々な鬼ごっこ、スポーツ鬼ごっこ」の設立・継続
- ・実践例の紹介

〈私たちが取り組む目標〉



所用時間

2時間程度

定員

20人程度(要相談)

必要物品

動きやすい服装・運動靴

テーマ

出来る範囲で出来る事から取組む
『クップ(スウェーデン発祥の薪当てスポーツ)体験』のキッカケ作り

担当講師

団体名 私たちの未来環境プロジェクト

代表者 池本 真一

講座概要

【青少年の健全育成・基礎体力・コミュニケーション能力の向上】

クップ(スウェーデン発祥の薪当てゲーム)等のスポーツ体験を通じ、外で遊ぶことや学ぶことの楽しさを伝え、明るく元気で健康的な心身づくりを行います。また全身運動を通しての基礎体力の向上を図ります。運動神経のあるなしに関わらず、みんなで同じ楽しさを共有し運動する機会のない子どもも気軽に参加出来る環境をつくれます。子どもが主体となるきっかけを沢山作り、多文化共生・次世代へ伝統文化を繋いでいきます。

〈主な内容〉

- ・「クップ」とはなにか
- ・「クップ」のメリット・デメリット
- ・無理なく・楽しい「クップ」の設立・継続
- ・実践例の紹介
- ・グループワーク、企画づくり

〈私たちが取り組む目標〉



所用時間

2時間程度

定員

20人程度(要相談)

必要物品

動きやすい服装・運動靴

テーマ

出来る範囲で出来る事から取組む
『モルック(フィンランド発祥の薪当てスポーツ)体験』のキッカケ作り

担当講師

団体名 私たちの未来環境プロジェクト

代表者 池本 真一

講座概要

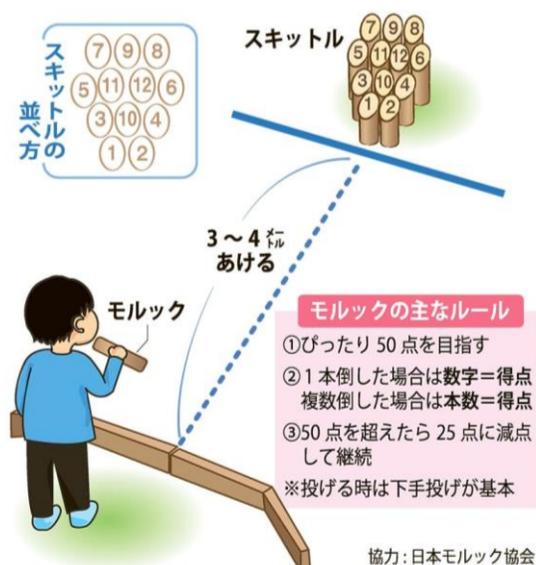
【青少年の健全育成・基礎体力・コミュニケーション能力の向上】

モルック(フィンランド発祥の薪当てゲーム)等のスポーツ体験を通じ、外で遊ぶことや学ぶことの楽しさを伝え、明るく元気で健康的な心身づくりを行います。また全身運動を通しての基礎体力の向上を図ります。運動神経のあるなしに関わらず、みんなで同じ楽しさを共有し運動する機会のない子どもも気軽に参加出来る環境をつくれます。子どもが主体となるきっかけを沢山つくり、多文化共生・次世代へ伝統文化を繋いでいきます。

<主な内容>

- ・「モルック」とはなにか
- ・「モルック」のメリット・デメリット
- ・無理なく・楽しい「モルック」の設立・継続
- ・実践例の紹介
- ・グループワーク、企画づくり

<私たちが取り組む目標>



所用時間

2時間程度

定員

20人程度(要相談)

必要物品

動きやすい服装・運動靴

テーマ

出来る範囲で出来る事から取組む『プログラミング的思考入門』のキッカケ作り

担当講師

団体名 私たちの未来環境プロジェクト

代表者 西藤 誉志也

講座概要

小学校段階における「プログラミング教育」とは、子ども達に、コンピューターに意図した処理を行うよう指示することを体験させながら、将来どのような職業に就くとしても、時代を超えて普遍的に求められる力としての「プログラミング的思考」などを育むことであり、コーディング(プログラミング言語を用いた記述方法)を覚えることが目的ではありません。「scratch(スクラッチ)」というビジュアルプログラミング環境を使って、小学生を対象にした「プログラミング的思考入門教室」を開催します。参加者同士で話し合っテーマを決めて、そのテーマに沿ったプログラムを皆で協働し、楽しく試行錯誤しながら作成していく中で、「プログラミング的思考」という考え方に触れていきます。

〈主な内容〉

- プログラミング的思考について学ぶ
 - ・テキストベースで練習問題
- スクラッチの基本を学ぶ
 - ・テキストベースで進め、パソコン実習もあり
 - ・オフライン版で進めるが、オンライン版もあり

〈私たちが取り組む目標〉



所用時間

2時間程度

定員

10人程度(要相談)

必要物品

パソコン、ネット環境

テーマ

「いのちの木・持続可能な未来を考え会う」ワークショップ

担当講師

団体名

北九州インタープリテーション研究会

代表者

原賀いずみ・加藤久美子

講座概要

地域や地球の未来・ESDとは？を考えあうワークショップです。
これまで日本国内の様々な地域やJICAのプログラムとしても行ってきました。
子ども向けにもできますが、学生や大人、地域づくりの様々な場におススメです。

<主な内容>

- ・持続可能な地域の未来を考えあう参加型のプログラムです。
- ・ふるさとARTワークショップでアイスブレイク
- ・フォトランゲージで地域や地球の問題を語り合う
- ・いのちの木で持続可能な未来を表現

<私たちが取り組む目標>



所用時間

1時間

定員

10人～

必要物品

なし

テーマ

SDGs学びワークショップ SDGsアートワークショップ

担当講師

団体名

北九州インタープリテーション研究会

代表者

原賀いずみ・加藤久美子

講座概要

SDGsについて、まだまだ知らない人も多い現状ですが、なぜSDGs(国連持続可能な開発目標)が必要なのか？その意義をフォトランゲージで考え合ったり、SDGSのアイコンを使って考え合うワークショップです。また、フィンガーペイントでSDGsアイコンのイメージを描くアートワークショップもあります。

<講座内容>

- ・SDGsって何だろう？
フォトランゲージワークショップ
- ・SDGsを語ろう
- ・SDGsとMDGs・SDGsアートワークショップ
指絵の具で描く17目標

<私たちが取り組む目標>



所用時間

60分～

定員

10人～

必要物品

プリント・フォトランゲージ・指絵の具

テーマ

知っているような気がするけれど、いまさらきけないカタカナ言葉

担当講師

団体名

科学技術コミュニケーション研究所

代表者

泉優佳理

講座概要

「SDGs」「ESD」「ESG」「DX」といったアルファベットが並んだ言葉や、「ゼロカーボン」「サステナビリティ」「ジェンダー」などのカタカナ言葉、さらには「半導体」「脱炭素」などニュースでよく見る言葉、そして、「サブスク」「FIRE」など最近耳にする言葉など、なんとなく知っているけれど、それってなんだろう・・・という言葉が身近にいろいろありませんか。そんな言葉の意味をまず知ると、SDGsなどのいろんな情報も理解しやすくなります。身近な言葉も含めて、単語をみなおしてみましよう。

<主な内容>

ニュースなどでよくでてくる略語、カタカナ語、現代語などを、さまざまな話題を交えながらお話しします。環境の言葉、流行の言葉、科学技術の言葉など、どんな言葉をメインにお話するかはご相談の上で。
(右の写真は、バイキング時代のものです。何を伝えたかったのでしょうか・・・)

<私たちが取り組む目標>



所用時間

45分～90分

定員

何人でも

必要物品

パソコン・プロジェクター・マイク

テーマ

なぜ金(きん)は大切にされるのでしょうか ～ 身近なものから考えるESDとSDGs

担当講師

団体名

科学技術コミュニケーション研究所

代表者

泉優佳理

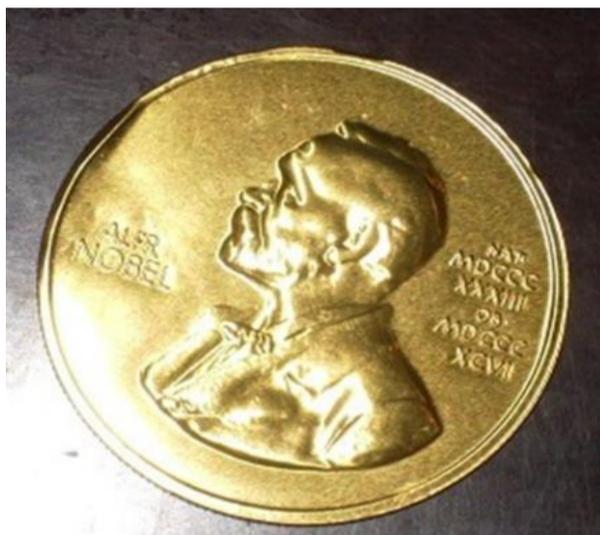
講座概要

世の中にあるものの中で金(きん)は大切にされます。たとえばオリンピックでは一等賞が金のメダルです。また、結婚式の時に贈られる指輪は金かプラチナが多いです。身近にあって大切にされるモノのおはなしから、ずっと大事にしていきたいものは何でしょう。それはSDGsの”S”である”持続可能性”を考えていくことでもあります。金から他の金属のリサイクルにも話を展開し、環境と暮らし、私たちが大切にしたいものはなにか、そのためにできることはなにかを身近なものやおはなしから考えてみられませんか。

〈主な内容〉

- ・どうしてオリンピックのメダルは金・銀・銅なの？
- ・使い終わったカメラや携帯電話はどうします？
- ・結婚指輪に金やプラチナを贈る理由は？

〈私たちが取り組む目標〉



所用時間

45分～90分

定員

何人でも

必要物品

パソコン
プロジェクター

テーマ

家をすっきりかたづけながら、人生百年時代の暮らしを考えませんか

担当講師

団体名

科学技術コミュニケーション研究所

代表者

泉優佳理

講座概要

家の中にいろいろとたまったものをすっきり整理したい・・・と思うかたが増えていますが、なかなか最初の一步が踏み出せないかたもおられるようです。また、片付けてでたものはどうすればよいのかと処分に悩まれるかたもおられるのではないのでしょうか。家の片付けは、人生100年時代の暮らし方にも、地球環境にも、よいことのできるチャンスです。この講座から最初の一步を踏み出してみませんか。

<主な内容>

- ・モノの整理は心の整理。・具体的な片づけ方法
- ・これからの暮らしは環境配慮で・・・
- ・人生100年時代。安全安心に過ごすためにも

<私たちが取り組む目標>



所用時間

60～120分

定員

とくにありません

必要物品

パソコン
プロジェクター

テーマ

”あたりまえ”がずっと続きますように・・・(平和について考えましょう)

担当講師

団体名

科学技術コミュニケーション研究所

代表者

泉優佳理

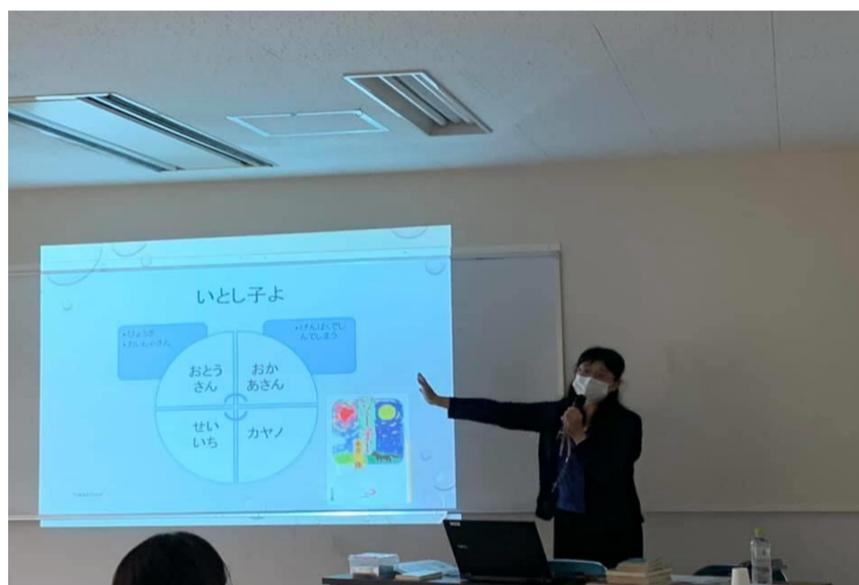
講座概要

この講座は、SDGsの16番「平和と公正をすべての人に」の「平和」について、私たちの身の回りの”あたりまえ”から考えていきます。日頃は、あたりまえにそこにあって、あたりまえに過ごしている大事な人との時間が、戦争になったら一瞬で消えてしまうかもしれません。いろいろな国の言葉や暮らしの紹介しながら、自分たちの”あたりまえ”を探し、それが一瞬で消えてしまった第二次世界大戦中のこととお話し、これからどうしたらよいかを一緒に考えます。

＜主な内容＞

- ・毎日の中でのあたりまえの良さに気がつくよう。
- ・北欧の国などの暮らしと比べてみよう。
- ・人類と戦争の歴史をふりかえろう。
- ・これから大事なことは何か考えよう。

＜私たちが取り組む目標＞



所用時間

45分～75分

定員

30名くらい

必要物品

パソコン・プロジェクター

テーマ

食べ物のいのちと人のいのちはつながっている ～なくそう食品ロス～

担当講師

団体名

NPO法人 フードバンク北九州・ライフアゲイン

代表者

原田 昌樹

講座概要

私たちの国では、本来食べられるのに廃棄されている「食品ロス」が年間643万トン発生しています。しかし一方で、世界で約9億人の人々が栄養不足状態にあるという現実があります。また日本でも、子供の貧困が問題となっています。

この不均衡を私たちはどう解決できるのでしょうか？講座では、どこでどのようにしてこのような食品ロスが発生するのかを学び、私たちにできることを考えます。

また全国で展開されているフードバンク活動について紹介します。

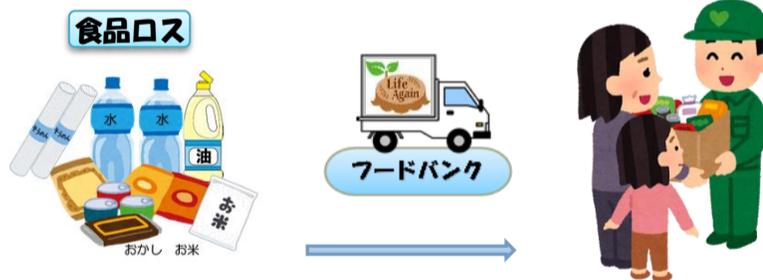
(主な内容) 以下から組み合わせ可能

- ①世界の貧困と日本の食品ロス 食品ロス全般
- ②子どもの貧困問題・子ども食堂
- ③フードバンク活動全般
- ④食べ物のリサイクル(コンポストの作り方)
- ⑤食品ロスを学ぼう
(子ども向けフードロスおにごっこなど)

〈私たちが取り組む目標〉



施設・家庭など



所用時間

60～120分

定員

10～50名

必要物品

パソコン
プロジェクター

テーマ

北九州市 出前講座

担当講師

団体名 北九州市

代表者

講座概要

北九州市では、市政に関することについて、出前講座を行っています。
環境やESDについてはもちろん、福祉、教育、まちづくりなど、全13分野230テーマ(R3年度実績)をご用意しています。

《講座テーマの例》

- ・北九州市だからこそできる環境学習
- ・北九州市のエネルギー政策
- ・北九州市の地球温暖化対策について
- ・みんなで取り組む3R
- ・気軽にできる家庭ごみの減量化

〈私たちが取り組む目標〉



※お申込・お問い合わせはホームページをご覧ください、
直接、北九州市役所 広聴課までお願いいたします。
TEL:093-582-2527 FAX:093-582-3117
【北九州市 出前講演】で検索！

所用時間 0~60分(テーマによる)

定員 おおむね20人以上

必要物品 テーマによる

担当講師

団体名

北九州インタープリテーション研究会

代表者

原賀 いずみ

講座概要

本の世界からSDGsについて考え、ブックカードを作りその思いを伝え合うことにより、SDGsに対する思いを深めながら共有することにより、パートナーシップを育むことをねらいとする。

<主な内容>

- ①SDGsについて学ぼう！SDGsメガネとフォトランゲージ
- ②SDGsの願いを伝える本を探そう
- ③SDGsブックカードを作ろう
- ④ブックカードを使って語り合おう！

<私たちが取り組む目標>



所用時間

約60分～120分

定員

講座による

必要物品

講座による

講座概要

日本の高度成長を支えた「企業戦士」(主として男性)は退職後、地域活動に積極的に参画し充実した日々を送っているとは言えない実態があります。私は定年退職後、市民センターの夜の職員として約5年働きながら地域活動を学びました。その経験から「愛されないジジイ」に2つのパターンある事を知り、その対策について考えてみました。対策には女性の支援が大変効果的な事を学びましたので、本講座では具体的な対策に関する活動事例を紹介します。

〈主な内容〉

- ①退職後の男性はいかに地域活動に参画していないか！
- ②愛されないジジイの2つのパターン
- ③愛されないジジイを引っ張り出すには女性の助言が有効！
- ④更に愛されるバアバになって健康寿命を伸ばそう

〈私たちが取り組む目標〉



「愛されるジジイ・バアバのつくり方」
～定年退職後、学んだこと～

〈説明事項〉

- 1 自己紹介
- 2 雑誌「プレジデント」の特集記事 (2012年11/12号)
 - ① 「愛されるジジイ」になる7つの心得
～現役時代とは何もかもが逆になる～
 - ② 「無縁老人」の7つの傾向
～名刺を燃やす「儀式」をやるくらいの覚悟を！～
- 3 「終わった人」 (内館牧子 著) & 映画化 (2018年6月)
～仕事人間にととう訪れた定年退職～
- 4 「すぐ死ぬんだから」 (内館牧子 著) (2018年8月)
～人生100年時代 実際はなかなか死ねない時代～
- 5 何故、この様な特集が掲載され、また映画化されるのか・・・？
 - ① 4つの縁 (職縁、血縁、地縁、友縁)
 - ② 「4つの縁」の理想と現実のギャップ
- 6 定年退職後、学んだこと！
愛されないジジイの2つのパターン
- 7 “愛されるジジイ” となる為に何をすべきか！
- 8 “愛されているバアバ”に更にお願したいこと！
- 9 “愛されるジジイ” を目指した私の具体的活動事例の紹介
- 10 まとめ

「愛されるジジイ」になる7つの心得

“現役時代とは何もかもが全く逆になる！”

1	妻は「上司」と心得よ
2	ゼロから「女の世界」で生きる覚悟を
3	戦わずして負けよ 勝てば勝つほど離婚が近い
4	定年5年前から「準備」を始めよ
5	タダで話を聴いてくれる人はもういない
6	「モテ」は簡単 威張らず、黙って話を聴け
7	「ありがとう」はまず形から

出典：プレジデント (2012年11/12号)

所用時間 60分～120分

定員 約10～30名

必要物品 プロジェクター

テーマ

人生100年時代、あなたにもっと、もっと、活躍の場が！

担当講師

団体名 北九州ESD協議会個人会員

代表者 金子良恵

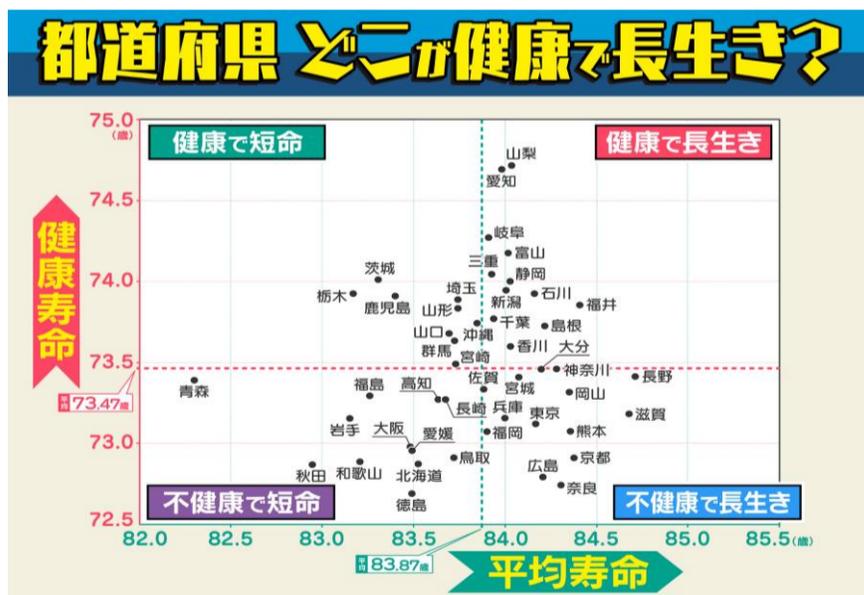
講座概要

最近平均年齢約80歳という老人会的な団体から、本テーマの講師依頼を受ける頻度が多くなっています。地域の年長者が、その校区の次世代をになう子ども達への支援活動を行うことは大きな意義があります。そこで地域活躍の参考にして頂くため、「地域の教育力」の具体的事例で紹介しています。既に日頃、市民センターや穴生学舎等々で講座のお手伝いを継続的に実施中ですので、お気軽に相談下さい。

＜主な内容＞

- ①山梨県はなぜ「健康寿命」が日本一か！
- ②福井県はなぜ「幸福度」が日本一か！
- ③この2つの事実から学ぶことは何か？
- ④熊西小学校～熊西まちづくり協議会～熊西市民センターの連携活動の紹介などなど、年長者が具体的に行動を起こす為のヒントを沢山紹介します！

＜私たちが取り組む目標＞



所用時間 60分～120分

定員 約10～30名

必要物品 プロジェクター

テーマ

幸運な人と不運な人とを隔てるものは何か！～ESD活動を通じて学んだ事～

担当講師

団体名 北九州ESD協議会個人会員

代表者 金子良憲

講座概要

俺は運が悪い～「オレには運がない…だから出世もしないしカネもないし女にもモテない」
——そう嘆くのは早い。

最新の研究では、「運を呼び込む習慣」があるというのだ →。認知的焦点化理論（京都大学 藤井教授）
そこで重要なのは幸運の人と不運の人を隔てるものが何かを知ることである。日頃から「利己的」ではなく、「利他的」に行動することの重要性を学びました。北九州ESD協議会個人会員としてESDを学び、地域活動を実践する中で経験した具体的な活動事例を紹介します。

<主な内容>

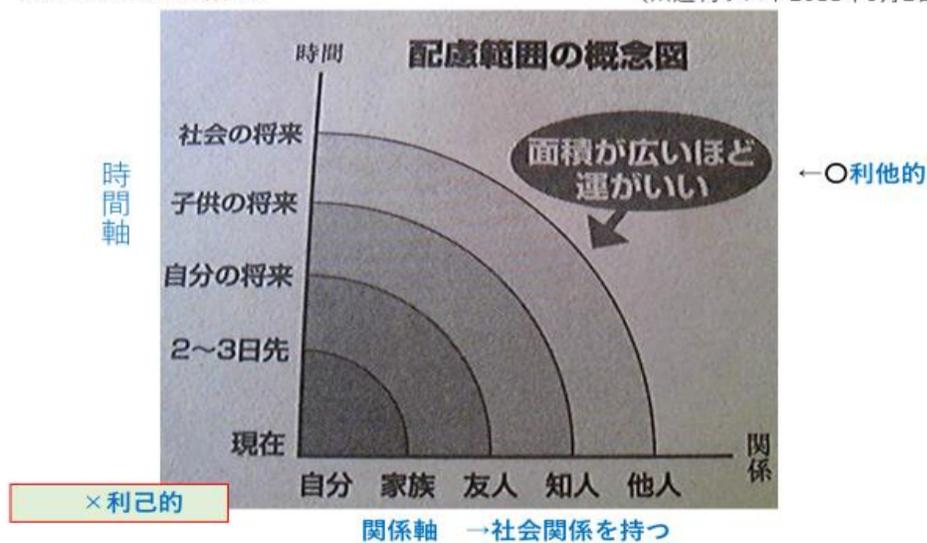
- ①認知的焦点化理論の要点説明
(藤井教授が強調している点)
- ②私自身が経験している「運を呼び込む習慣」の
具体的事例紹介
 - ・オペラ歌手から棋士九段の紹介
 - ・ヴァイオリニストとの交流の輪の広がり
 - ・女性能楽師からの素晴らしい提案
 - ・北九大・地域共生教育センターとの交流
 - ・「ESD推進いきいきシニア塾」の活動
 - ・北九州エンジョイント事業”かがやき塾”の活動
 - ・「生涯学習」「生涯学習」学びの輪の広がり！
等

<私たちが取り組む目標>



認知的焦点化理論(2)

(※週刊ポスト2011年9月2日号)



★他人のために動けば（利他的な行動で）“運”が良くなる

所用時間 60分～120分

定員 約10～30名

必要物品 プロジェクター

担当講師

団体名 北九州ESD協議会個人会員

代表者 金子良憲

講座概要

最近の科学が読み解く性によれば「ともに生き延びる為」に脳が男女で違うそうです。超高齢社会に向けてお互いに「女性脳」「男性脳」をよく理解することの重要性を地域活動を通じて学びました。戦後、「男は仕事」「女は家庭」という性的役割分担意識が定着してきたが、今こそ男も女も「社会的責任」と「家庭的責任」を担うことが重要と痛感したいと思います。定年退職後、この問題に失敗ながら取り組み「地域活動」を実践してきた経験談を紹介し、併せて近年のコロナ禍にあっての新たな学びも披露します。

＜プログラム＞

- ・定年退職後、地域活動に入れなかったのはどうして？
- ・地域活動に入るキッカケは女性の助言
- ・八幡西区熊西校区での諸活動
- ・地域活動の具体的な事例紹介
- ・コロナ禍にあっての日常生活での失敗談
- ・まとめ

＜私たちが取り組む目標＞



女と男 何が違う？ なぜ 違う？

～金子流・地域活動への活かし方～

2019年(令和元年)〇月〇日()

北九州市男女共同参画審議会市民委員
元九州大学農学部非常勤講師
金子良憲

＜説明事項＞

- (1) 定年退職後、地域活動に入れなかったのはどうして？
- (2) 地域活動に入るキッカケは女性の助言
 - ① 穴生学舎で学び始めたのは・・・
 - ② 穴生学舎での学びを「生涯現役」・「生涯学習」に活かそうと考えてのは・・・
 - ③ 北九州市男女共同参画審議会市民委員への応募
 - ④ 北九州ESD協議会に個人会員として入会
- (3) 熊西校区での諸活動
 - ① 熊西市民センターでの職員としての勤務経験(4.5年間)
 - ② 熊西まちづくり協議会・事務局員としての活動
 - ③ 熊西ESD実行委員会の立ち上げ & まち協組織下での推進活動
- (4) 地域活動の具体的な事例紹介
 - ① 北九州エンジョイント事業 八幡西市民アカデミー “かがやき塾”
 - ② 八幡西区ボランティア連絡協議会
 - ③ 北九州ESD協議会個人会員 “おしゃべり工房”
 - ④ 筒井市民センターでのESD活動
 - ・ESD推進いきいきシニア塾
 - ・筒井ESD実行委員会 “シニア学びの会”
 - ⑤ 熊西校区社会福祉協議会活動の支援
 - ・ふれあいサロン
 - ・熊西校区市民防災会
- (5) 金子流・ボランティアの進め方を紹介します
- (6) まとめ 「友縁」は「親友」から「新友」

以上

所用時間 60分～120分

定員 約10～30名

必要物品 プロジェクター

テーマ

私であればお手伝いします！ ～ESD活動を通じて学んだ事～

担当講師

団体名 北九州ESD協議会個人会員

代表者 金子良憲

講座概要

私の現役時代は「企業戦士」として残業の明け暮れが普通で「地域活動」には全く無関心でした。その結果、定年退職後「地域活動」に参加するキッカケをつかめず苦労した苦い経験があります。北九州ESD協議会の活動を学び、個人会員として参加してから私の活動の輪は広がってきました。今回はその諸活動の一部を紹介させていただきます。すべての活動は「北九州地域住民」みんなでつながろう、広げよう！」を心掛けて推進しています。地域住民の輪は中間市、直方市、宗像市、博多市・・・と広がって来ています。私の友人のネットワークで私の活動報告書は全国に広がり、参考にして頂いています。

〈主な内容〉

- ・現役時代はどんな仕事をしていたの？
- ・退職後、入退院を繰り返したのはどうして？
- ・回復のキッカケ～地域活動に踏み出せたのはどうして～
- ・北九州ESD協議会の活動を知る
- ・「生涯現役」「生涯学習」を心掛ける「ESD推進いきいきシニア塾」の紹介
- ・市民センター等ESD活動推進事業への参画
- ・人材育成・発掘プロジェクトへの参加
- ・「ESD & SDGs」の推進に向けての私の「想い」

〈私たちが取り組む目標〉



私であればお手伝いします！	
～ESD活動を通じて学んだ事～	
2019年〇月〇日()	
北九州市男女共同参画審議会市民委員(第5期)	
元九州大学農学部非常勤講師	
金子良憲	
<説明事項>	
(1) 私のプロフィール	～会社でどんな事をやっていたの？～
(2) 退職後、入退院を繰り返したのはどうして？	
(3) 回復のキッカケ	～地域活動に踏み出せたのはどうして～ ～穴生学舎での学び～
(4) 北九州ESD協議会活動を知る！	
① 三隅副代表(当時)との出会い	～北九州ESD協議会個人会員へのお誘いを頂く～
② 北九州ESD協議会10年経過後の取り組み	～事務局体制の強化を提言～

(5) 「生涯現役」「生涯学習」を心掛ける	「ESD推進いきいきシニア塾」の立ち上げと現在の活動紹介！
(6) 市民センター等ESD活動推進事業への参画	
①	筒井ESD実行委員会 “シニア学びの会”
②	熊西ESD実行委員会
(7) 人材育成・発掘プロジェクトへの参加	
①	私の熱い想い 「北九州地域住民」 みんなでつながろう、広げよう！
②	「おしゃべり工房」の企画立案・推進
③	今後の課題
(8) 「ESD & SDGs」の推進に向けての私の「想い」	以上

所用時間 60分～120分

定員 約10～30名

必要物品 プロジェクター

テーマ

“with コロナ”時代を如何に生き抜くか！～フレイルの予防を考えよう～

担当講師

団体名 北九州ESD協議会個人会員

代表者 金子良憲

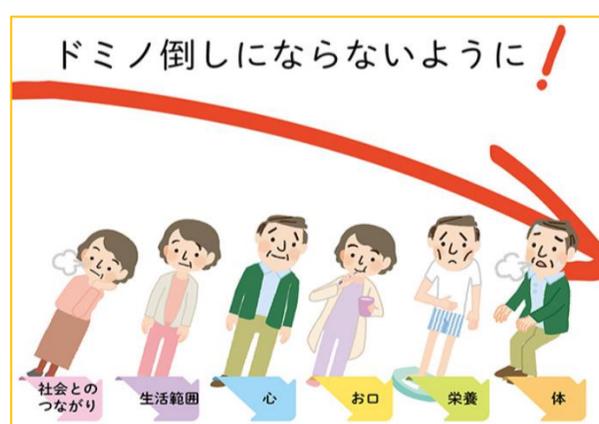
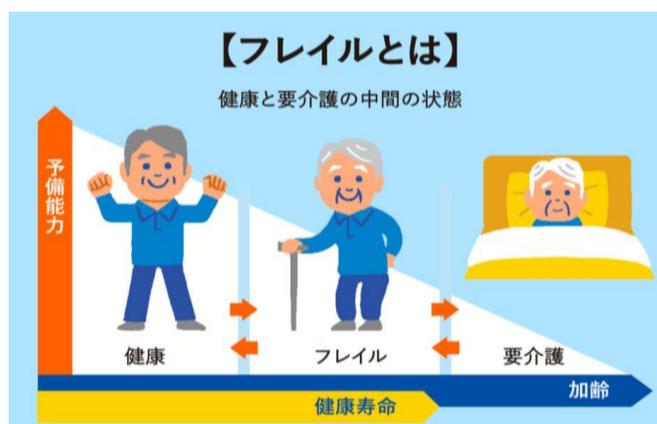
講座概要

コロナ禍の影響で“フレイル”（要支援）状態の人が約1.5倍に急増しています（2015年と2020年対比）。その原因は「運動時間の減少」と「人と会う機会」が減少した事が上げられます。この社会とのつながりを失うことがフレイルの最初の入り口だと指摘されています。“フレイル・ドミノ”
この講座では「フレイル防止」の為に、如何に「健康寿命」を伸ばすかに関してヒントとなる具体的な事例を紹介します。併せて、「北九州市公共施設マネジメント実行計画」によれば、未来に向けて市民センターの重要性が益々、高まる事が予想されますので、対応策も説明します。

<主な内容>

- ①コロナ禍でフレイルが1.5倍に急増している実態説明
- ②その原因と健康寿命の関係
- ③健康寿命を延ばす為のヒントー1
(健康寿命全国NO1富山県に学ぶ)
- ④ヒントー2(幸福度全国NO1福井県に学ぶ)
- ⑤北九州市公共施設マネジメント実行計画

<私たちが取り組む目標>



出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

所用時間 60分～120分

定員 約10～30名

必要物品 プロジェクター

担当講師

団体名 北九州ESD協議会個人会員

代表者 金子良憲

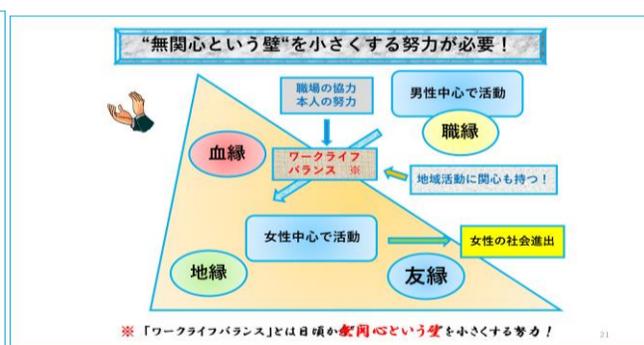
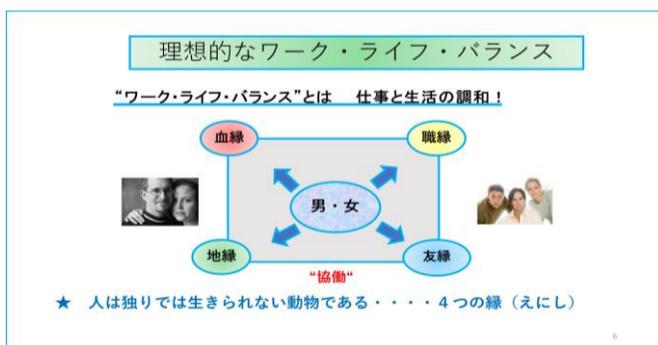
講座概要

- ①地元の大学から以下のように講師依頼があつています。
 <依頼の趣旨>
 ①この講座は、地域で活躍されている方々の御苦勞をお聞きして、
 ②学生に社会人としての意識を育んでもらおうという趣旨です。
 ③この講話に、金子様の会社員時代の御苦勞を一部でも盛り込んでいただけると幸いです。

<プログラム>

- ①定年退職後、痛感した”ワーク・ライフ・バランス”の重要性
 ② 現役時代からバランスの良い生活を楽しもう
 ③「地域連携センター」の学びは社会人になって活かします
 ④大学生の地域活動を発表する場づくり
 ⑤ 運を呼び込む習慣(認知的焦点化理論)
 京都大学大学院・藤井 聡 教授

<私たちが取り組む目標>



所用時間 60分～120分

定員 約10～30名

必要物品 プロジェクター

テーマ

「昭和街頭紙芝居」の世界へようこそ！

担当講師

団体名 北九州ESD協議会個人会員

代表者 金子良憲

講座概要

「昭和街頭紙芝居」は昭和20～30年代に手書きで書かれた世界に1枚しかない原画です。紙芝居師・田中臣昭氏(通称;田中のおっちゃん)はこの原画を使える会員で大阪以西では彼一人です。「子ども向け」「大人向け」「3世代交流の企画」・・・等いろいろなプログラムを組むことが可能です。紙芝居の他に昔懐かしい「水あめ」のサービスや「型抜き」でお楽しみ頂けます。現役で仕事(ニシム電子工業 佐賀工場勤務)をしながら、地域活動に熱心に取り組む”田中のおっちゃん”の姿勢からワーク・ライフ・バランスの重要性を大人向けに説明するときは、私(金子)が同行しています。

〈主な内容〉

- ★子ども&3世代交流講座
 - ・「昭和街頭紙芝居」の”口演” &クイズ
 - ・水あめのサービス
 - ・型抜きを楽しもう！
- ★大人向け講座の時
 - ・同上
 - ・紙芝居師に学ぶ「ワーク・ライフ・バランス」

〈私たちが取り組む目標〉



所用時間 60分～120分

定員 約10～30名

必要物品 プロジェクター

テーマ

自分たちのまちを見つめよう！ 語ろう！

担当講師

団体名 NPO法人好きっちゃ北九州

代表者 理事 入門 真生

講座概要

老若男女問わず、全ての人が生き生きと暮らすために、自分の生活する場所や環境への居心地の良さがあるととても良いと思います。自分の住むまちのことをより詳しく知り、自分のまちへの視点をもつことでより愛着がわいてくることと思います。

当たり前のように普段生活する自分のまちにも知らないことが沢山あったり、すごい魅力が隠れていたり。過去から現在まで、このまちが伝えてきたものを見つめ、現在の礎を感じ、これからの未来を一緒に創造していきましょう。

専門のファシリテーターがこのまちを見つめるきっかけを提示し、進行します。「地域のことは地元の人が一番知っている」のモットーで改めてこのまちのことを語り合しましょう。

- (1)このまちの地名の由来
- (2)このまちの地形とその特徴
- (3)このまちの遺跡や現在までの礎
- (4)このまちのこれまでとこれから

〈私たちが取り組む目標〉

11 住み続けられる
まちづくりを



4 質の高い教育を
みんなに



所用時間

1～2時間

定員

10～80人

必要物品

プロジェクター

テーマ

思い出トラベル～私がキミ達の頃には～

担当講師

団体名 NPO法人好きっちゃ北九州

代表者 理事 入門 真生

講座概要

受講対象は子どもから大人まで、団体構成は問いません。
 (なるべくなら)世代の異なる方の複数人から、年代に合わせた思い出話を順に語っていただきます。
 専門の知識や経験等は必要なく、いち生活者としての思い出を語っていただきます。
 例えば、同じ年齢の頃の思い出話などに話題を揃えて、それぞれの時代を振り返っていくことで、時間の流れを実感するタイムトラベルを体験するものです。
 過去から現在への変化があったように、現在から未来への変化も意識することがESDの重要な目的と考えています。

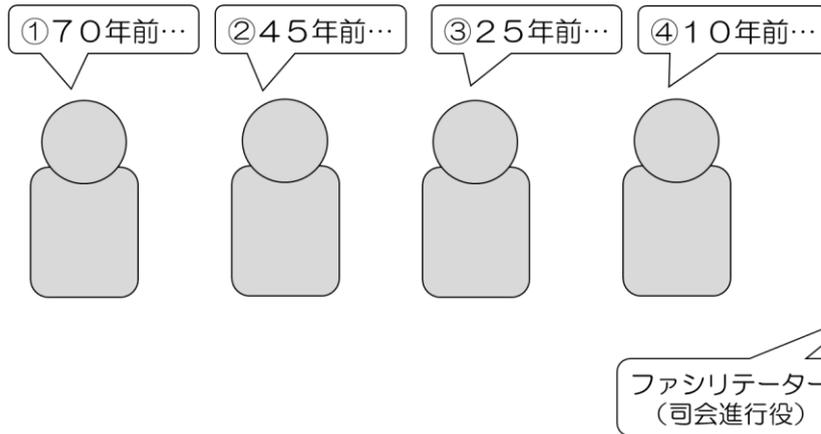
専門のファシリテーターが話題を繋いでいきます。
 参加者は自分の思い出を話せばOK!
 現在から過去に話題を遡ったり、時間軸と同様に過去から現在に話題が進行したりすることで、変化したものを感じます。

(例)戦争と平和、科学の進歩と暮らし、産業発展と公害の克服、コミュニティのありよう など

〈私たちが取り組む目標〉



思い出トラベル～私がキミ達の頃には～



所用時間

1～2時間

定員

制限なし

必要物品

マイク2本

テーマ

大人も子どもも、防災で遊ぼう！ 『あそぼうさい』

担当講師

団体名 NPO法人好きっちゃ北九州

代表者 理事 入門 真生

講座概要

地球温暖化による『気候変動時代』
災害により自分の身を守ることは絶対的に必要です。
しかしながら、なかなか防災への取組みは進みません。
そこで、楽しく！あそびながら、災害や防災の趣旨を体感する『あそぼうさい』
一緒にやってみませんか？ 百聞は一見にしかず！ やってみましょう！

手作りのゲームや仕掛けなどで、災害や防災を実感します！

ボールを使うもの、カードゲーム、確率を遊びにしたハラハラドキドキのものまで！

自然や防災を感じるということは、自然の摂理や、感情を理解することです。

その地域の自然形態など、災害特性に応じたプログラムで実施します。

〈私たちが取り組む目標〉

11 住み続けられるまちづくりを



13 気候変動に具体的な対策を



所用時間

1～2時間

定員

制限なし

必要物品

特になし

テーマ

SDGsって何だろう？(ESDって何だろう？)

担当講師

団体名 北九州ESD協議会 個人会員

代表者

入門 真生

講座概要

最近よく見聞きする『SDGs』や『ESD』
今さら聞けない！？「SDGs(ESD)っていったい何なの！？」
主催者のみならず、講座参加者もそう思っらっしゃる人はたくさんいると思います。
身近な話題から、『実感する』ことをテーマに、SDGsやESDについて考えていきましょう。

おしゃべりや雑談の中から、SDGsやESDについて、
『実感』することを目的とします。
参加者どうし、楽しく話し合いながら進めましょう。
受講者の皆さんが、SDGsやESDの担い手となる
よう、市民目線での理解・納得を広げていきましょ
う！！

〈私たちが取り組む目標〉



(例)受講者による『自分なりESD』のアウトプット



(例)クイズで実感SDGs

所用時間

1～2時間

定員

制限なし

必要物品

プロジェクター

テーマ

「そもそもボランティアってなんだろう？〈ボランティア概論入門編〉」

担当講師

団体名

地球交遊クラブ

代表者

細井陽子

講座概要

ESDについて学び行動するときを知っておきたいボランティアについて。
基本的な考え方(知識・価値観・行動など)をもとに環境・経済・行動などをもとに
環境・経済・社会の統合的な発展を目指し、「持続可能な社会の創り手を育む教育」とあります。

<引用参考> (文科省HPより)

本講座は大学で教鞭をとる講師による「持続可能な社会の創り手」の人材育成に際し
「ボランティア」「市民活動」の基本理念に基づく「ボランティア概論」をESD視点で学びます。
初心者にはその後の活動の発展に、経験者には学びを深めさらなる発展のヒントにさせていただくことを願います。



所用時間

90分

定員

上限20名程度

必要物品

プロジェクター・スクリーン・ホワイトボード

テーマ

「私を知ってちゃノート」が繋ぐ介護する側・介護される側の信頼の絆

担当講師

団体名

NPO法人老いを支える北九州家族の会

代表者

五郎丸日出雄

講座概要

約30年にわたり認知症ご本人や障害者そして介護家族の方に寄り添いながら、正しい理解への啓発活動や地域との共生活動をめざしていろいろな事業を展開してきました。新しい事業として取り組んでいるのが「私を知ってちゃノート」の普及活動です。このノートは認知症や脳卒中や事故などでもコミュニケーションが取れなくなった時に自分がどういう介護を受けたいか！をこのノートを活用して今から文字に記す過程で、家族の方はもちろん介護する専門職の方への理解と感謝の念を深めると同時に、介護される側の自分の尊厳をいかに守ってもらえるかの相互理解のツールになるのでは！そんな意義あるノートの活用を知っていただく事で有意義な講座になると思っています。従来普及しているエンディングノートとは違った「介護」というキーワードから「介護は自分事」という認識が浸透することで共生社会創造の一端を担えるのではないかと強く願う次第です。

〈主な内容〉

- ・「あなたはどう生きてきたの」理解が介護する側の出発点～必要な情報をいかに伝えることができるか
- ・「私を知ってちゃノート」を作った意味
- ・あなたらしい尊厳ある介護を受けるために必要な情報の説明
- ・ノートへの直接の書き込みの実践

〈私たちが取り組む目標〉



令和3年12月13日：門司区松ヶ江北市民センター伊川サブセンターでの講座の様子

* 受講生の方へ配布する資料代「私を知ってちゃノート」として税込み200円の負担をお願いします



所用時間

約2時間

定員

10～20名

必要物品

マイク・プロジェクター・ホワイトボード

テーマ

『あなたの大事な人が認知症？あなたならどうする？』

担当講師

団体名 NPO法人老いを支える北九州家族の会 代表者 五郎丸日出雄

講座概要

当会は約30年にわたり認知症ご本人や障害者そして介護家族の方に寄り添いながら、認知症への正しい理解への啓発活動や地域との共生活動をめざしていろんな事業を展開してきました。ただこの2年間コロナ感染予防で社会が委縮、停滞する中で、認知症の理解や偏見をなくし正しく理解いただく活動も中止。ただいま一度改めて認知症への理解を深めていただく啓発活動に取り組んでいきたいと思っています。その端緒になるテーマとして「自分の大事な方が認知症？あなたならどうする？」という設定で認知症になってもご本人や家族の方へアドバイス・サポートできる対応力を学んでいきます。2025には6人に1人が認知症になると想定される超高齢者化において、認知症を「他人事」ではなく「自分事」として考えられるよう学んでみませんか！

〈主な内容〉

- ・「認知症を発症のシグナルとは」
- ・「認知症の早期治療の重要性」
- ・「認知症になっても大丈夫！いろいろなサービス」
- ・「認知症になっても安心して暮らせる地域づくり」

《いろいろな会場での講座の様子》

〈私たちが取り組む目標〉

3

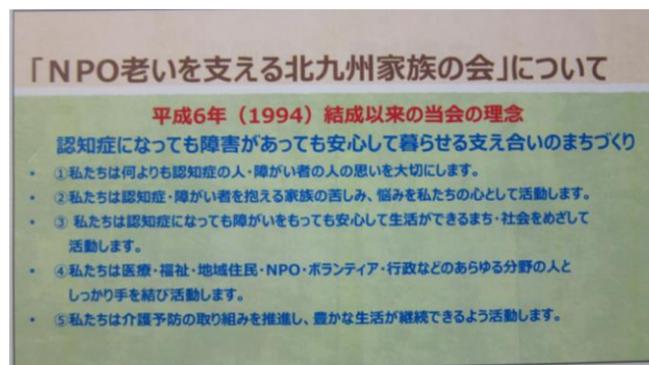
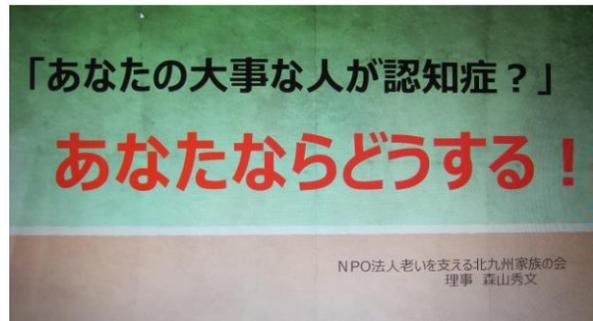
すべての人に
健康と福祉を



11

住み続けられる
まちづくりを





所用時間

約2時間

定員

10～20名

必要物品

マイク・プロジェクター・ホワイトボード

テーマ

「身近なSDGsを学ぼう！」

担当講師

団体名

北九州ESD協議会ユース(学生)会員

講座概要

北九州ESD協議会では、ユース(学生)会員による
市民向け出前講座「身近なSDGsを学ぼう」を行っています。
SDGs17のテーマの中から「ジェンダー平等を実現しよう」「海の豊かさを守ろう」等のテーマを
ユース目線で説明します。
是非、ユースと一緒にSDGsを学びませんか？

〈私たちが取り組む目標〉



所用時間 約60分～120分

定員 講座による

必要物品 講座による

MEMO

A large, empty rounded rectangle defined by a dashed gray border, occupying most of the page below the title.

